

富環新発第1006号  
令和2年 1月20日

時田 祐佐 様

富士市長 小長井 義正  
(環境部新環境クリーンセンター建設課)

### 市長への手紙について (回答)

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より富士市政につきまして御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいた「市長への手紙」につきまして、次のとおり回答いたします。

#### <回答>

循環啓発棟に係る市民意見交換会につきましては、時田様御承知のとおり、平成28年度から平成30年度にかけて市主催のもと11回開催しており、意見交換会を開催する中で、平成30年10月には、市民が主体となった会議（みんなの会）や、運営備品について検討を行う、事業者主催の運営活動ワーキンググループが発足しました。みんなの会では、市主催の意見交換会とは異なり、新環境クリーンセンターに関する話し合いのテーマを、市民の皆様が中心となって設定し、定期的（月2回程度）に会議を開催していただいております。

このような経緯のもと、本年度から、市では、みんなの会の会議に参加し、話し合いのテーマに応じて、市の考えについて説明を行ってまいりました。

市主催の意見交換会につきましては、施設の設計等について、意見交換会や運営活動ワーキンググループにおいて御意見をいただいたことや、運営に関しては指定管理者の決定後に、より具体的な内容を検討することが望ましいと考え、本年度は開催しておりません。

これまでの意見交換会やみんなの会において、市民の皆様からいただいた御意見は、運営開始後に、指定管理者が実施する環境学習・環境啓発プログラムに可能な限り反映するよう検討してまいります。

また、本年度は、みんなの会への参加者の方を講師として、3回の展示制作ワークショップを企画（1回は台風19号の影響により中止）するとともに、環境フェアにおいては市民の皆様と協働で、施設のPRや愛称の募集を行ったところです。

今後の予定につきましては、これまで、みんなの会の会議を企画しておりました準備事務局が、昨年12月に解散していることから、みんなの会が今後開催されるかは明らかとはなっておりませんが、指定管理者が決定するまでの間は、指定管理者の優先交渉権者である㈱クリーン工房が、主にメーリングリストを活用した情報発信を行うとともに、市といたしましても、引き続き、展示制作ワークショップの開催や、循環啓発棟の周知、PRを行っていきたいと考えております。

時田様御指摘の、循環啓発棟の供用開始に向けた準備期間につきましては、優先交渉権者が工事受注者の協力企業として、循環啓発棟の企画に携わっていることや、これまでに開催した各種会議に参加し、実際に活動している団体とつながりをもっていることから、3か月程度の準備期間があれば、施設の供用開始に間に合うものと考えております。

準備期間には、指定管理者は、指定管理業務仕様書に定めた業務の実施に向けて、施設の維持管理を行うスタッフの確保、ボランティアの募集や各種講座の開催に向けた準備を行うほか、オープニングセレモニーの準備を行う予定となっております。

また、修理再生施設の運営につきましては、「市民が主役」とであるという考え方のもと、基本的な枠組み（運営管理の基準、ボランティア登録制度の設計や活動に必要となる設備や備品など）について検討してまいりましたが、この枠組みを踏まえた事業計画につきましては、指定管理者からの提案を求める形となります。

そのため、御指摘をいただいた、ボランティア登録制度の運用を含めた修理再生施設の具体的な運営方法につきましては、指定管理者の決定後に、市と指定管理者との間で協議を行い決定していくこととなります。

なお、施設の受付や案内を行うボランティアの養成につきましては、実際に案内する施設の完成後に養成することが望ましいと考え、工事期間中ではなく施設の供用開始後に養成講座を開催し、職員による案内から徐々にボランティアによる案内に移行していくことを想定しております。

今後も、本事業の推進に向けて、御理解、御協力をいただけるようお願いいたします。

以上